



令和4年10月13日

富士見市議会議長 齊藤 隆浩 様

会 派 名 草 の 根
代 表 今 成 優 太

行政視察・研修（政務活動）報告書

下記のとおり、行政視察・研修（政務活動）を実施しましたので、報告いたします。

記

- 1 期 間 令和4年10月3日（月）～令和4年10月4日（火）（1泊2日）
- 2 参加者名 勝山 祥
- 3 場所（行政視察地・研修場所）
全国市町村国際文化研修所
滋賀県大津市唐崎2-13-1
- 4 調査・研修概要
令和4年度トップマネジメントセミナー～災害や感染症などへの対応と質の高い地域
社会の構築に向けて～

大規模災害に備えて～想定外は起きる

元復興庁事務次官・市町村職員中央研修所 学長 岡本 全勝 氏

東日本大震災の復興に携わった岡本氏の話には「想定外は震災が発生する前はもちろん、復興においても続いていく」という言葉が印象的だった。前例がないことにはその都度、独断も含めた判断が迫られる。「前例や予算がない中で、困っている住民が喜んでくれることが判断基準だった」という言葉が重かった。災害発生時に議員に期待したい役割は、首長や職員が気づけない部分などきめ細やかな部分を伝え、パイプ役になってほしいとのこと。

災害に強いまちづくり

関西大学社会安全学部 特別任命教授 河田 恵昭 氏

災害の発生を歴史的な視点と社会的な視点でわかりやすく解説、講義していただいた。

災害が新たに貧困を作り出してしまうことは、諸外国の例で明らかであり、それまでの経済投資も無にしてしまう。発展するためには防災が先であり、災害を少なく、そして創造的な復興をするためには、住み続ける住民が多くつながりを持った社会的な防災力が必要とあった。

防災を社会的な視点も加える視点は新鮮である。

行政の危機管理～相次ぐ災難への対応と「ピンチをチャンス」に変えるまちづくり
福島県福島市 市長 木幡 浩 氏

現職の福島市長から、東日本大震災だけでなく台風による水害、農作物被害の現状や対応を聞くことができた。複合災害、最悪な事態、嫌な時（酷暑、厳寒、時間外）の災害にどのように備えるのかを夜間訓練や運動会に災害を盛り込んだ競技、災害対策オペレーションシステムの構築などでクリアする手法を聞いたことは貴重だった。災害対策において、住民の意識を向上させる事が一番重要である。このことを忘れずに取り組みたい。

ウェルビーイングな働き方と日本の未来
株式会社Y e e Y共同創業者／代表取締役 島田 由香 氏

「ポジティブであれば生産性も高く、仕事もうまくいく」ということは、言われるまでもなく理解しているつもりだったが、それをどうやって作り出すのかは難しいことが多い。ウェルビーイング（継続的な幸せ）は主観的で良く、人と比べて作り出すものではない。昨日よりも少しでも良いことがあればそれをほめて、ポジティブな感情を作り出し、人と接していく。良い感情で、主体的に関わり、達成、成長を感じ、より良い人間関係の中で意義意味を見出していく。これで人生や課題も大きく変わっていくとのこと。

まとめ

災害をテーマにした2日間の講義だった。災害をどのように乗り越えるのか、そして準備するのかわけだけではなく、それを社会的な視点で捉えたり、科学的な具体策で判断を助けたりできるように取り組んでいる事例を聞くことができた。一方でウェルビーイングといった心持ちや接し方は、問題解決する人材をどのように育成するのかを聞くことができた。前向き、強みを発揮できる組織やグループは、災害対応に何より力を発揮できると考えられる。今後、必ず生かしたい。